

第4回 「食育に関する意識と実践について」

1 調査目的

栃木県では、「第4期栃木県食育推進計画」に基づき、食育の普及、実戦に向け、関係団体と連携しながら県民運動として、各種施策を展開しています。
今後の計画の見直しにあたり、県民のみなさまの食育に対する意識や実践状況等を把握するとともに、施策の参考とするためアンケート調査を実施します。

2 調査概要

(1) 調査対象者

853名（とちぎネットアンケート協力者）

(2) 調査期間

令和7(2025)年7月8日～7月21日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。MicrosoftFormsにより回答

3 回答者属性

回答数 512 名（回答率60%）

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	207	40.4 %
女性	299	58.4 %
未回答	6	1.2 %
計	512	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	0	0.0 %
20代	10	2.0 %
30代	37	7.2 %
40代	134	26.2 %
50代	133	26.0 %
60代	130	25.4 %
70代以上	68	13.3 %
計	512	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	261	51.0 %
県南	145	28.3 %
県北	106	20.7 %
計	512	

(注)

- (1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- (2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。
- (3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

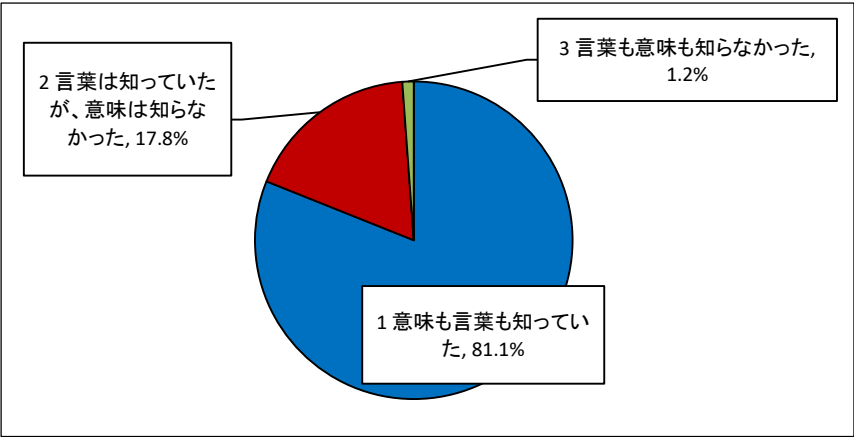
4 調査結果

問1 あなたは、食育という言葉やその意味を知っていますか。

※「食育」とは、「食」に関する知識やバランスのよい「食」を選択する力を身に付け、
健全な食生活を実践することにより、食に対する感謝の気持ちを深め、心身の健康と豊かな人間性を育むことです。
(1つ回答)

	構成比	回答数
1 意味も言葉も知っていた	81.1%	415
2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった	17.8%	91
3 言葉も意味も知らなかった	1.2%	6

(n = 512)

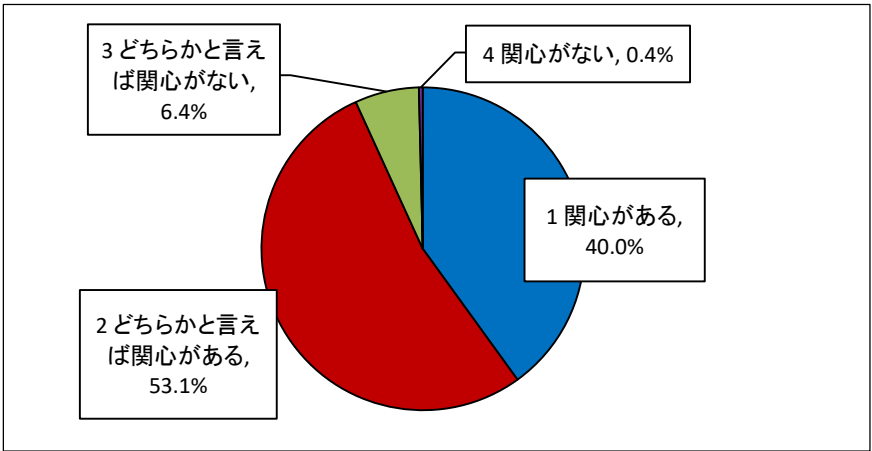


問2 あなたは、「食育」に関心がありますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 関心がある	40.0%	205
2 どちらかと言えば関心がある	53.1%	272
3 どちらかと言えば関心がない	6.4%	33
4 関心がない	0.4%	2

(n = 512)



問3 (問2で選択肢3または4を選んだ方に伺います。)

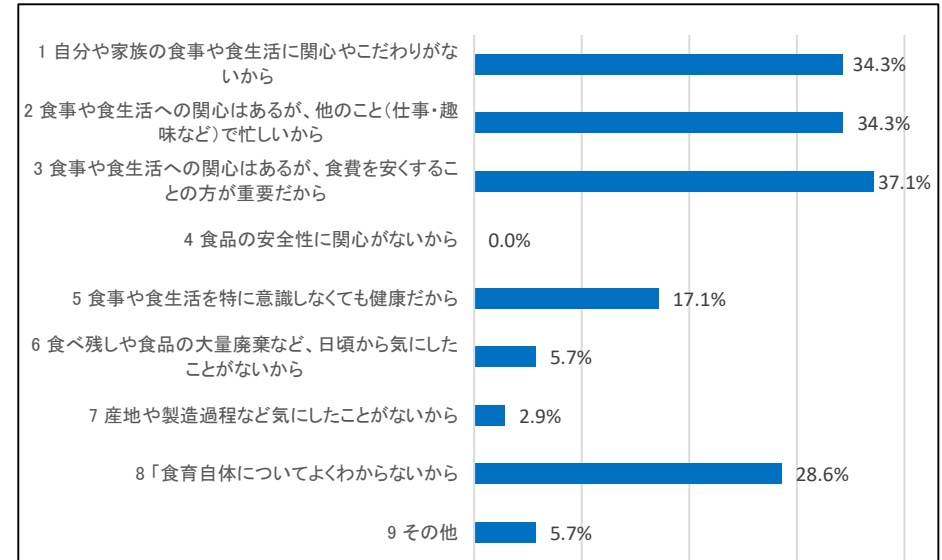
あなたが「食育」に関心がない理由は何ですか。(3つまで回答)

	構成比	回答数
1 自分や家族の食事や食生活に関心やこだわりがないから	34.3%	12
2 食事や食生活への関心はあるが、他のこと(仕事・趣味など)で忙しいから	34.3%	12
3 食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから	37.1%	13
4 食品の安全性に関心がないから	0.0%	0
5 食事や食生活を特に意識しなくても健康だから	17.1%	6
6 食べ残しや食品の大量廃棄など、日頃から気にしたことがないから	5.7%	2
7 産地や製造過程など気にしたことがないから	2.9%	1
8 「食育自体についてよくわからないから	28.6%	10
9 その他	5.7%	2

(n = 35)

【その他の主な意見】

- ・食育はもう十分身に付いているから
- ・子どもがいないから



問4 今後1年間、あなたはどのようなことを食育として実践したいと思いますか。

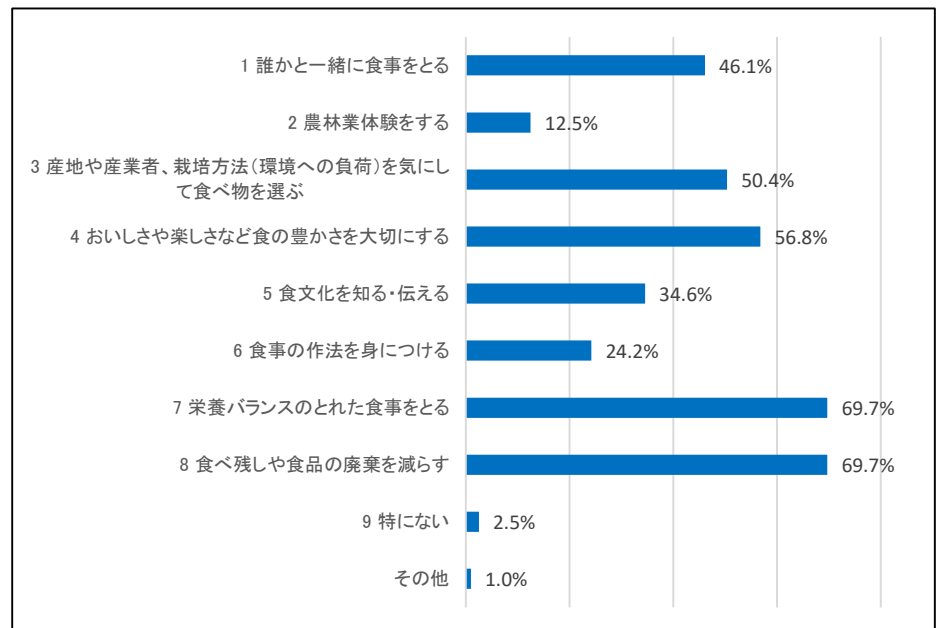
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 誰かと一緒に食事をとる	46.1%	236
2 農林業体験をする	12.5%	64
3 産地や産業者、栽培方法(環境への負荷)を気にして食べ物を選ぶ	50.4%	258
4 おいしさや楽しさなど食の豊かさを大切にする	56.8%	291
5 食文化を知る・伝える	34.6%	177
6 食事の作法を身につける	24.2%	124
7 栄養バランスのとれた食事をとる	69.7%	357
8 食べ残しや食品の廃棄を減らす	69.7%	357
9 特にな	2.5%	13
10 その他	1.0%	5

(n = 512)

【その他の主な意見】

- ・料理する楽しさや豊かさを共に感じる
- ・頂く命に感謝して食す



問5 あなたは、郷土料理や伝統料理、食べ方、作法に関して、どのようなことを受け継いでいますか。

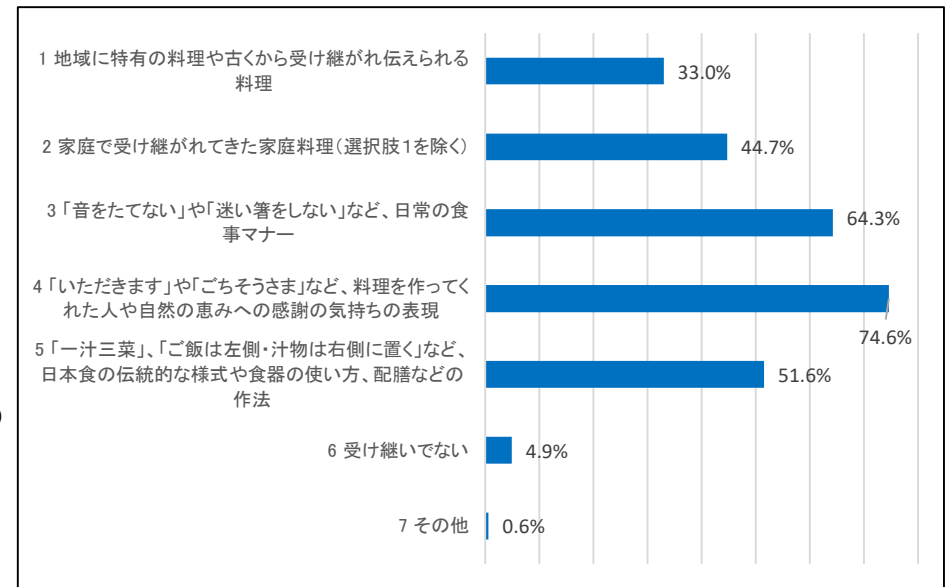
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 地域に特有の料理や古くから受け継がれ伝えられる料理	33.0%	169
2 家庭で受け継がれてきた家庭料理(選択肢1を除く)	44.7%	229
3 「音をたてない」や「迷い箸をしない」など、日常の食事マナー	64.3%	329
4 「いただきます」や「ごちそうさま」など、料理を作ってくれた人や自然の恵みへの感謝の気持ちの表現	74.6%	382
5 「一汁三菜」、「ご飯は左側・汁物は右側に置く」など、日本食の伝統的な様式や食器の使い方、配膳などの作法	51.6%	264
6 受け継いでない	4.9%	25
7 その他	0.6%	3

(n = 512)

【その他の主な意見】

- ・季節や行事でその食事を作ったり食べたりする
- ・母から受け継いだ漬物



問6 あなたは、郷土料理や伝統料理、食べ方、作法を受け継ぐためには、どのようなことが必要だと思いますか。

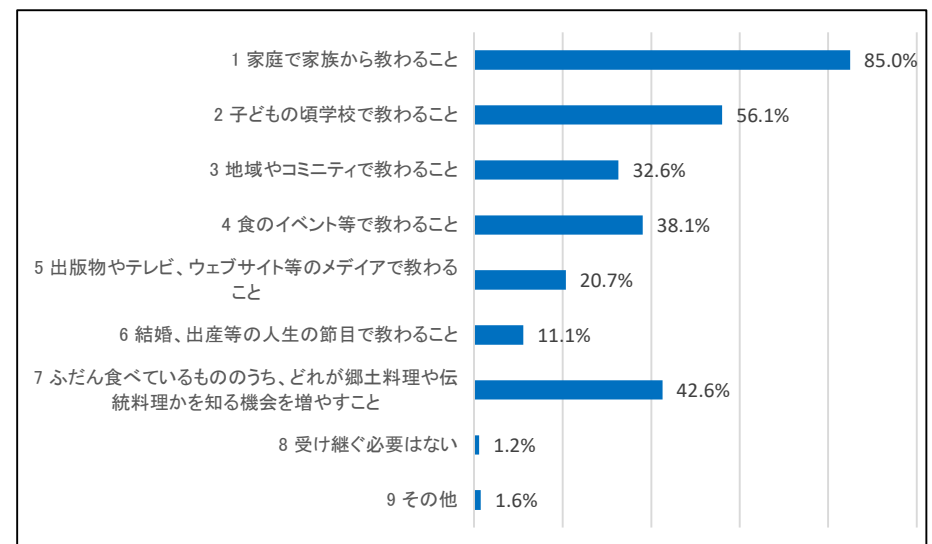
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 家庭で家族から教わること	85.0%	435
2 子どもの頃学校で教わること	56.1%	287
3 地域やコミュニティで教わること	32.6%	167
4 食のイベント等で教わること	38.1%	195
5 出版物やテレビ、ウェブサイト等のメディアで教わること	20.7%	106
6 結婚、出産等の人生の節目で教わること	11.1%	57
7 ふだん食べているもののうち、どれが郷土料理や伝統料理かを知る機会を増やすこと	42.6%	218
8 受け継ぐ必要はない	1.2%	6
9 その他	1.6%	8

(n = 512)

【主なその他の意見】

- ・家で受け継ぐのは現代では不可能なので、幼稚園保育所から小学校低学年で必修にすること
- ・自分で関心を持ち学ぶこと

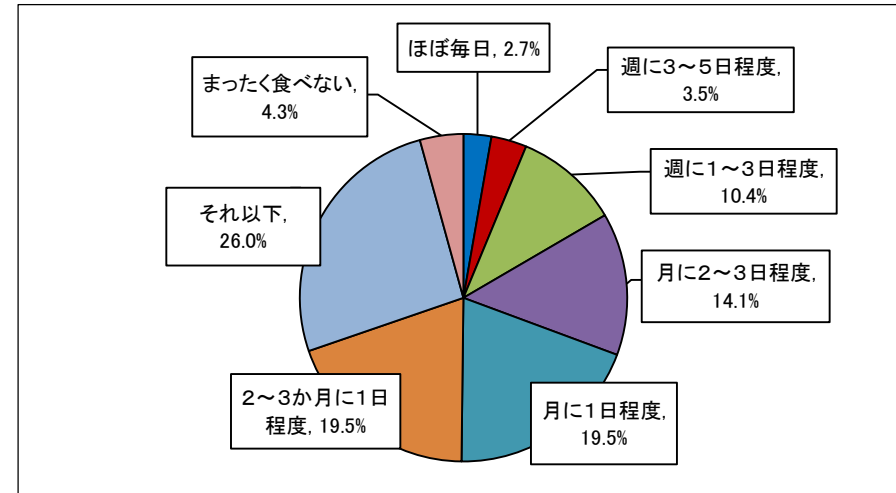


問7 あなたは、いわゆる郷土料理や伝統料理をどのくらいの頻度で食べていますか。（1つ回答）

※この設問でお尋ねする「郷土料理や伝統料理」は、ご自身の生まれ育った地域や現在住んでいる地域を限定せず、
旅先や外食先などで食べる日本の郷土料理や伝統料理を含みます。

	構成比	回答数
1 ほぼ毎日	2.7%	14
2 週に3～5日程度	3.5%	18
3 週に1～3日程度	10.4%	53
4 月に2～3日程度	14.1%	72
5 月に1日程度	19.5%	100
6 2～3か月に1日程度	19.5%	100
7 それ以下	26.0%	133
8 まったく食べない	4.3%	22

(n = 512)

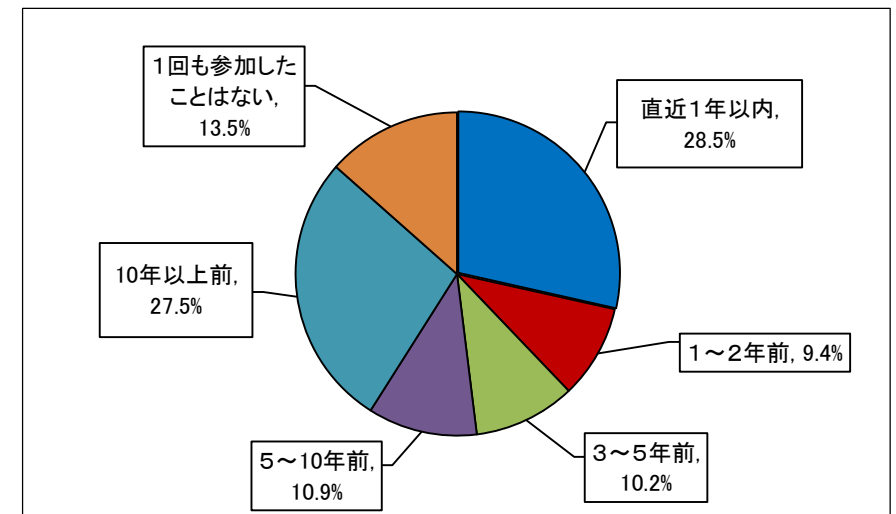


問8 あなたは、田植えやいちご狩り、乳搾りなど、農業体験に参加したことがありますか。直近の参加時期について、教えてください。

（1つ回答）

	構成比	回答数
1 直近1年以内	28.5%	146
2 1～2年前	9.4%	48
3 3～5年前	10.2%	52
4 5～10年前	10.9%	56
5 10年以上前	27.5%	141
6 1回も参加したことはない	13.5%	69

(n = 512)



問9 (問8で、選択肢3～6と答えた方に伺います。)

あなたが近年もしくはこれまでに農業体験に参加していない理由は何ですか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 関心がないから	7.9%	25
2 体験をやっている施設がわからないから	28.3%	90
3 興味のある体験がないから	17.0%	54
4 体力に自信がないから	23.9%	76
5 参加費用がかかるから	18.9%	60
6 会場までの距離が遠いから	15.7%	50
7 会場までの交通手段がないから	6.9%	22
8 時間が取れないから	35.2%	112
9 その他	11.6%	37

(n = 318)

【その他の主な意見】

- ・子供と一緒にというイベントが多く、大人だけで参加できるものが少ないから(子供が大きくなった)
- ・人気の体験はすぐ定員いっぱいになってしまうから

問10 あなたは、農業体験にどのような工夫があれば参加したいと思いますか。(複数回答可)

※(選択肢6について)体験前については、具体的な作業内容や受入側の担当者を知ることで参加にあたっての不安等が解消されること。

また、体験後については、体験後の作物の生育状況の確認や受入側の担当者との交流等により、関係が続くことをイメージしています。

	構成比	回答数
1 作物の生長に合わせて種まき、収穫など複数の作業が体験できること	47.9%	245
2 収穫物の調理体験ができること	41.4%	212
3 地域の伝統行事などのイベントに合わせて参加できること	41.8%	214
4 地元の生産者等との交流があること	34.8%	178
5 親子や友人など、いろいろな参加の仕方ができること	40.8%	209
6 オンラインで、体験前に試したり、体験後も関係が続けられること	9.6%	49
7 その他	6.8%	35

(n = 512)

【その他の主な意見】

- ・体験後に何か私生活にも持ち帰れるもの。物質的なものでなく、知識的なもので。
- ・無料もしくは手軽に家族みんなで参加できる値段

